

やつしろ市議会だより

平成26年3月定例会



▲満開の桜（八代城跡） 合併3周年を記念して、平成20年8月1日に八代市の花に制定

主 な 記 事

◎ 3月定例会の流れ	2
◎ 各常任委員会報告	3
◎ 質疑・一般質問（20人が登壇）	7
◎ 3月定例会採決結果一覧	14～15
《特集》	
◆市議会の広報・PR活動	16
◎ 編集後記	16

第35号

平成26年5月1日発行

編集・文責

八代市議会広報委員会

☎ 0965-32-5984
（市議会事務局）

3月定例会の流れ（会期25日間）

月 日	会議名	内 容
2月24日（月）	本会議（提案理由）	・市長より平成26年度一般会計当初予算を含む議案49件が提案 ・平成25年度補正予算に伴う議案2件を関係常任委員会に付託し、本会議休憩中に各常任委員会で審査 ・各常任委員会委員長より付託議案2件について審議結果報告後、採決
3月 3日（月）	本会議（質疑・一般質問）	・20人が登壇し、議案及び市政について質疑・一般質問 ・6日（木）に市長より、議案2件の追加提案 ・各議案を関係常任委員会に付託
4日（火）	〃	
5日（水）	〃	
6日（木）	〃	
10日（月）	経済企業委員会	・付託議案を各常任委員会で審査（請願陳情含む）
12日（水）	建設環境委員会	
13日（木）	文教福祉委員会	
14日（金）	総務委員会	
20日（木）	本会議（討論・採決）	・各常任委員会委員長より審議結果報告後、採決 ・市長より、人事案件2件が追加提案され、採決 ・発議案第1号が提案され、採決 ※各議案の採決結果については、14～15ページを御参照ください。

平成26年度一般会計予算

540億6100万円

○保育士等処遇改善臨時特例事業

8864万6000円

保育士の人材確保対策を推進する一環として、保育士等の処遇改善に取り組む保育所に対し、賃金上乘せ等に要する経費を補助するものです。

○フードバレー事業

1792万9000円

商品力強化販売支援事業（6次産業化研修・コンサルティング事業、魅力発信PR事業）、熊本県南フードバレー推進協議会負担金、工場用地適地選定調査業務委託等に要する経費です。

○中学校施設整備事業

4800万円

プールろ過機改修工事（泉中学校）、プールブロック塀改修工事（第二中学校）、給水設備改修工事（第一中学校）、特別支援教室整備（第六中学校）等に要する経費です。

など

平成26年度特別会計予算

381億9809万円

平成26年度企業会計予算

16億6476万8000円

議案・発議案など54件を議決

委員会報告

全ての議案を本会議できめ細かく審議することは効率的ではないため、本市議会においては、四つの常任委員会に付託され審議がなされています。これらの委員会で審査・調査を行った結果は、委員長から本会議において報告が行われます。

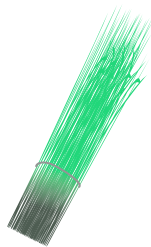
ここでは、三月二十日に行われた委員長報告を抜粋して掲載いたします。

経済企業委員会

◆平成二十六年八代市一般会計予算・農業機械再生支援事業について

問 補助対象となる機械には、織機や乾燥機も含まれるのか

答 ハーベスターばかりではなく、織機、乾燥機のほか、苗掘り取り機、選別機、移植機もイグサ専用機械ということで、補助を行っている。



問 当初の補助対象は、ハーベスターなどの生産中止の機械がメインだったと思うが、割合はどうなっているのか

答 二十五年実績五十台分の機種別としては、ハーベスター三十二台、織機五台、苗掘り取り機五台、乾燥機四台、選別機三台、移植機一台であった。

意見 関係機械も補助対象として、多くの予算が計上しており、農家としては非常に助かる事業だと思うが、もともとは、生産が中止される機械への補助を行うために始めた事業だったと思うので、これらの機械に対しては、今後の修理費上昇も想定した限度額の検討をしたほうがよいのではないか。

◆平成二十六年八代市一般会計予算・営農支援事業について

問 専門スタッフの構成メンバーについて

答 専門スタッフは、二名を雇用したいと考えており、農業に精通した方ということで、県、市及びJAのOBなどから人選したいと考えている。

意見 二十六年から始まる新たな事業という点でもあり、取り組みの内容及び効果については、十分検証を行うようにしていきたい。

◆平成二十六年八代市一般会計予算・工場用地適地選定調査業務委託について

問 業務委託の内容と、市として想定する最適地の規模について

答 現在、八代市フードバレー基本戦略構想を策定しており、その中間報告の中で、食品関連産業の集積地が必要ということがうたわれており、適地を何力所か選定されている。そこで、この中から最適地を選定するための調査を委託し、決定後、全庁的に取り組んでいく予定としている。最適地の規模については、まだ決定しておらず、現在、問い合わせがあっている企業などの情報を収集している段階であり、これらを勘案しながら、必要とする面積も含めて調査を行うことにしている。

問 委託を行う時期及び用地情報の照会があった企業数について

答 委託の時期については、適地が選定できれば、次年度予算に関係してくる部分もあるので、年度当初、早急に委託できるような体制づくりをしたいと考えている。また、用地情報については、九州外で十社程度、市外で五社程度から照会がっている状況であり、そのほかにも、長年、関係をつくってきた企業も数社あり、これら企業の進出も今後期待できるものと考えている。

問 今までの話からすると、工業団地をイメージするが、計画としては、分散型と集合型のどちらを考えているのか

答 工業団地に適した土地が見つければ、そこに進出していただいたほうが効率の面からもうよいと考えている。しかし、早急に進出を考えておられる企業に関しては、工業団地の完成を待っていても間に合わないので、既存の遊休地等を紹介することは必要と考えている。

その他の主な質疑

○地籍調査事業における地区別の進捗状況について

○特定鳥獣保護管理補助金における国庫補助による年度途中の増額見込みについて

○八代産材利用促進事業における新築に対する助成額の積算根拠について

○観光施設あり方検討会に求める目的及び内容について

○まちづくり交流基金の活用基準について

○八代市コンテナ利用助成金の現状及び今後の展望について



建設環境委員会

◆平成二十六年八代市一般会計予算・ごみ減量化対策事業について

問 燃やすごみの減量化・資源化の今後の強化策について

答 事業系ごみの減量化対策として、平成二十三年二月より、二名のごみ減量アドバイザーが、多量排出事業者を訪問し、ごみの減量化に対する協力を求めている。これまで、事業者の掘り起こし等を行ってきた結果、指定事業者が五十一者から百一者とふえている。今後は、新たに指定した事業者も含め、さらに数多くの訪問活動を行い、減量化への理解を求めていきたい。

意見 市民一人当たり一日五十グラムのごみの減量目標を掲げながら、なかなか達成できていない状況から、これを打開するためにも新たな施策を打ち出す必要があるのではないかと。例えば、現在、清掃センターで月二回行われている資源物の回収は、市民にも大変評判がいいと聞いている。そこで、年末や春の引越しシーズンなどには、回収回数をふやすなど、さらに積極的に取り組んでいただきたい。

◆平成二十六年八代市一般会計予算・道路新設改良費について

問 平成二十六年の工事箇所決定方法について

答 毎年、校区や住民から、数多くの要望が上がってくる中で、緊急性を見きわめながら、できる限り多くの要望に応えられるよう工事箇所・延長を決定している。

意見 限られた予算の中で対応していくことは厳しいかと思うが、市民の立場からすると、整備を急いでほしいとの強い思いもあるので、執行部においては、計画的な対応をお願いしたい。

行政と議会の責任のもと、市民の生命財産を守る上で、生活道路の維持、整備は優先課題として、予算面も含めて、今後しっかりと検討していただきたい。

◆平成二十六年八代市一般会計予算・都市公園安全・安心対策緊急支援事業及び公園施設長寿命化対策支援事業について

問 公園の危険な遊具の交換状況について

答 今年度策定した公園施設長寿命化計画に基づき、老朽化した危険な箇所から順次更新を行い、二十六年度は、七力所の公園遊具の更新を予定している。

問 今後、鉄製の遊具はプラスチック製へと変更されていくのか

答 安全性を第一に考えれば、強化プラスチック製の遊具が有用と思われる。

その他の主な質疑

- 不法投棄監視指導員による野焼き防止パトロールの活動内容について
- 事業者選定委員会における公平・公正性の十分な確保方について
- 老朽化に伴う、し尿処理施設及び斎場の今後の方針について
- イベントごみに対する取り組みについて
- 塵芥処理費におけるバグフィルターろ布及び可燃物収集車購入について
- 清掃センターで働く人々の労働環境改善について
- 土木費における事業の年度内完了の見通しについて
- 港湾施設改修事業の概要について
- 日奈久浜町ポンプ場改築更新工事の概要について
- 公営住宅ストック総合改善事業における、西宮団地及び上日置団地排水設備工事期間中の居住者に与える影響について

文教福祉委員会

◆平成二十六年八代市一般会計予算・生活保護総務費について

問 面接相談員の役割について

答 生活保護の相談を受ける際に一番初めに対応するのが面接相談員であり、生活保護が適用されるかどうか、また、他の制度が利用できないかなどを検討する、非常に重要な役割を果たしている。

問 自立を促す指導は誰が担っているのか

答 生活保護受給者に対してはケースワーカーが家庭訪問調査を実施し、病気や職歴等を考慮した上で、就労可能であれば就労支援員とともに支援をしたり、また、週に二回はハローワークから福祉事務所に来ていただくなど、それぞれで連携を図りながら就労指導を行っている。

問 ケースワーカーを増員し、少しでも社会参加できるような支援づくりが必要ではないか

答 現在のケースワーカー数は適正であると思っているものの、負担は非常に大きくかかっている現状にある。職員数の削減が叫ばれる中ではあるが、人事当局へは今後も引き続きケースワーカーとしての適正な人員配置を要望してまいりたい。

その他の主な質疑

- 新たな予算費目として臨時福祉給付金費及び子育て世帯臨時特例給付金費を設定した意図について
- 社会保障制度に係る財源確保が難しくなった場合の保育士等処遇改善臨時特例事業に与える影響と現在の見込みについて
- こどもプラザ事業の利用状況及び今後の事業展開について
- 不妊治療助成事業の実績について
- 生活困窮者自立支援法施行に向けた組織体制の構築について
- AED管理事業の概要について
- 本市子供会の組織数とその活動内容について
- 社会教育事業における社会教育団体に対する補助金の考え方及び教育文化センター建設基金積立金の概要について
- いじめ防止対策の体制づくりと予算措置について
- 公民館の維持管理及び施設整備に係る耐震診断関連経費の有無について
- 小中学校における芸術文化事業の実績について

◆平成二十六年八代市国民健康保険特別会
計予算について

問 昨年八月の政府の閣議決定で示された、
国保制度改革に対する認識について

答 社会保障制度改革国民会議の報告書にお
いて、平成二十九年年度をめどとして、国保の
保険者は都道府県化するとされたが市町村と
の役割分担の議論は始まったばかりである。
仮に、県が国保保険者になるとしても保険税
の賦課徴収や保健事業、医療費の適正化は市
町村が担っていくのではないかと思う。ただ、
保険税については、地域ごとの医療費に差異
がある中、均一化するのか、地域別の保険税
を設定するのかなど不透明な部分があり、平
成二十七年年度には、国の予算、政令、法案提
出などが予定されていることから、今後、国
の動向には注視していきたい。

その他の主な質疑

- 国民健康保険被保険者数の推移と今後の見
込みについて
- 国保財政状況の見込みについて
- 国保税の滞納状況について



総務委員会

◆平成二十六年八代市一般会計予算・市庁
舎建設基金事業について

問 新庁舎建てかえのための財源は、一般財
源を毎年積み立てていくということであるが、
単に税金を使って建てるということではなく、
現在、本市にある使用していない多数の公共
施設を財産処分することで得た収入を新庁舎
建てかえの財源にするといった財源確保に向
けた行政の努力を市民に示す必要があると思
うが、どうか

答 新庁舎建てかえのための財源については、
毎年度、限られた一般財源の中から捻出した
金額を基金として、積み立てていくというこ
とを基本としているが、財産処分による財源
確保についても総合的に検討していきたい。

◆平成二十六年八代市一般会計予算・防災
行政無線整備事業について

問 各地域での防災行政無線の間こえぐあい
の実施点検及び整備方針について

答 特に旧市地域においては、防災無線が聞
こえづらいという市民からの声は聞いている。
このような中、平成二十五年に各地域の間
こえぐあいの調査を行ったところ、市で設置

している屋外スピーカーについては問題はな
かったが、各町内の放送設備を利用している
ところについて、スピーカーの故障等により、
聞こえにくい地域もあった。また、スピーカ
ーの設置基準については、一つのスピーカー
で半径三百メートルをカバーするようにして
いるが、カバーしきれないエリアもあれば、
カバーしていても天候の状況、住宅の気密性
等により、聞こえづらいエリアもあると感じ
ている。今後は、カバー率の低い地域から順
次整備を進めていきたい。

意見 各家庭に設置する個別受信器のほう
が、防災無線より効果があると思うので、見直し
を含めしっかりと検証しながら施設整備に当
っていただきたい。

その他の主な質疑

- 日本中央競馬会事業所周辺環境整備寄附金
による整備内容及び日奈久校区からの要望
について
- ふるさと元気づくり応援寄附金の実績につ
いて
- 千丁支所庁舎における太陽光発電及び蓄電
設備設置に伴う活用内容について
- 防犯灯の設置基準について
- 住民自治推進事業の現状について
- 埋蔵文化財の保管及び認識について
- 消防施設整備に対する予算組みについて
- トップアスリート育成事業における対象選
手について

質 疑

一 般 質 問



議案に対する質疑と市政の各般にわたる一般質問は、3月3日から6日までの4日間、20人が通告・登壇し、幅広い活発な議論が展開されました。

主な質問のあらましと答弁の要旨は、次のとおりです。

福祉関連



堀口 晃

質問通告

○手話通訳者の身分の保障について
○行財政改革と財政計画について

◆手話通訳者の身分の保障について

問 聴覚障がい者の「言語」である手話は、聴覚障がい者にとって大切なコミュニケーションツールの一つである。手話通訳者は、ろう者から手話通訳の依頼を受けると、いつでもどんな場所でも出向き手話通訳を行っている。その手話通訳者については、公的な身分の保障が何もない状態である。本市独自で身分の保障制度を確立することはできないか問う。

答 健康福祉部長

手話通訳者はろう者の生活や権利の保障を支え、ろう者の社会参加のために重要な役割を担っている。現在、本市では手話通訳者の派遣事業を熊本県ろう者福祉協会への委託により実施している。しかし、健康保険や事故の際の補償等はない。身分保障を初めとした処遇改善は、手話通訳者の安全安心な活動を支援し、さらには通訳者の育成や確保にもつながるものと考えており、委託内容や事業の実施方法の見直しについて、県内各市に提案しながら進めていく。



橋本 隆一

質問通告

○消費税増税に伴う臨時給付金の支給について
○市立図書館への指定管理者制度の導入について
○特定外来生物の防除対策について
○パトリア千丁温泉施設の休止状況について

◆消費税増税に伴う臨時給付金の支給について

問 消費税増税に伴い低所得者への支援対策として「臨時福祉給付金」が支給されることが決定している。自己申請となるため、支給対象者のうち高齢者のみの世帯については、申請の漏れや手続がうまくできない等、また、給付を装った詐欺の被害に遭うことが憂慮される。希望する全ての人に支給がなされるように周知や詐欺等への対策について問う。

答 健康福祉部長

臨時福祉給付金の申請については、申請書が未提出の場合、再度、申請を促すなどの確に広報・個別勧奨を行い、申請漏れがないよう徹底していく。また、民生委員や社会福祉協議会が行う、高齢者世帯への見守り、声かけ活動を臨時福祉給付金の広報活動に活用していく。なお、給付を装った振り込め詐欺等の被害防止のため、広報用のチラシやFMやつしろなどの広報媒体を通じて注意喚起を行う予定である。



西濱 和博

質問通告

○生活困窮者自立支援の法制化を契機とした本市における取り組みについて
○八千把校区をモデルとした学校支援地域本部事業（学校応援団事業）のこれまでの取り組みと今後の展開について

◆生活困窮者自立支援の法制化を契機とした本市における取り組みについて

問 昨年十二月制定の「生活困窮者自立支援法」は自治体の裁量で対策事業を選択できることから、自治体間でのサービス格差が懸念される。熊本県社会福祉法人経営者協議会は、社会的責任を果たそうとみずから生活困窮者レスキュー事業を創設する方針。法に定める実施主体の自治体は後手になってはならない。任意事業の判断等どのように考えるか伺う。

答 健康福祉部長 現在、八代市社会福祉協議会と一体となってモデル事業に取り組んでいるが、生活困窮者のニーズの把握については、八代市社会福祉協議会の本来の業務である日常生活自立支援事業、生活福祉資金の貸し付け事業などの実施により、地域において支援が必要な方の情報を把握することが可能である。そのため、これらの情報を参考にモデル事業の実績や課題などを十分に検証した上で、就労準備支援事業等の任意事業を実施していくが見きわめたい。



太田 広則

質問通告

○地域少子化対策強化交付金の活用について
○居宅介護住宅改修における諸問題について
○ウインドウズＸＰサポート終了の影響と対策について

◆地域少子化対策強化交付金の活用について

問 結婚から育児まで国の切れ目ない支援策の交付金は、特に結婚事業の計画が乏しく活用できなかったと聞いた。結婚は少子化対策の重要な第一歩である。市長の当初予算では子育てに予算を計上してあるが、もともと弱点である結婚施策の予算が見えない。本市はこれまで結婚事業に取り組んできた。その成果も踏まえ市長の今後の少子化対策を問う。

答 市長・健康福祉部長 本市におけるこれまでの結婚活動支援については、一定の成果があったと認識している。しかし、結婚という成果を求める傾向が強く、結婚に至るまでの意識づくりや雇用の確保などといった、個人や地域の課題に取り組む必要性も見えてきた。このようなことから、総合的なサービスができるような検討を行いながら子育て支援の充実を初めとする少子化対策の施策について、今後、さらに横断的な連携を図り、積極的に進めていかなければならないと考える。



増田 一喜

質問通告

○保育園の入園・退園について
○インフレスライドに対する本市の考え方について

◆保育園の入園・退園について

問 育児をしている母親が、どうしても仕事をしなければならなくなって仕事を探したいが、子どもが家庭にいたのでなかなか仕事探しができないとか、また、上の子が保育園在園中に下の子を出産して、育児休暇をとっている場合などは、入園要件に該当しないケースとして入園できなかったり、もしくは退園しなければならないのか問う。

答 健康福祉部長 入園の理由はさまざまであり、保護者の方々のニーズに対応するためにも、柔軟な対応を行う必要がある。そのため、保護者の求職活動や職業訓練施設などへの就学、あるいは、下の子を出産・育児する場合などにおいては、それぞれに条件をつけた上で入園を認定している。なお、退職や病気の回復、家族の介護が不要になるなど、家庭での保育が可能となった場合には退園していただくことになる。



島田 一己

質問通告

- 瀬戸石ダム水利権更新について
- フッ化物洗口について
- 八代港の整備・防災について

◆フッ化物洗口について

問 フッ化物洗口実施については、県下でも高い関心が寄せられている。そこで、フッ化物洗口事業の概要、虫歯数の推移、今後のスケジュールについて問う。また、学校や保護者に対し、本事業のメリットやデメリットを説明する必要があると思う。この点に関してどのように考えているのか伺う。

答 健康福祉部長 本市の三歳児・十二歳児の虫歯保有数は減少傾向だが、全国・県平均より上回っているため、平成二十六年度的から、従来の十五保育園に加え、全小・中学校でも希望する児童生徒に対してフッ化物洗口事業（週一回、一分間のブクブクうがい）を行うために薬剤費のほか、臨時職賃金、学校への運搬料等、三百三十四万九千円を計上。四月から教職員や保護者へ薬剤の安全性や虫歯予防効果等を丁寧に説明していき、二学期からをめどに、準備の整った学校から順次進めていく。

環境関連



大倉 裕一

質問通告

- 平成二十五年度一般会計について
- 平成二十六年一般会計予算編成について
- 環境センター建設事業について

◆環境センター建設事業について

問 環境センター建設については、二十年間の運営費を除き、建設費用として約百四十億円が想定されている。このように建設費用が莫大となるため、建設費用について市民税やごみ袋の値上げなど、市民に新たな負担が求められるのではないかと不安がある。環境センター供用開始後における市民負担と、ごみ行政におけるサービスの考え方について伺う。

答 市長・環境部長 環境センターの基本的考え方として、燃えるごみの収集と資源回収の二十一分別は、現行のまま継続することとしている。環境センターの維持費は、現在の清掃センターと同程度と見込んでおり、現段階でごみ袋の単価等の改定により、新たな市民負担を求めることは想定していない。しかしながら、市の使用料・手数料に関する市民負担は、基本的な方針見直しや、稼働後の社会経済状況を見きわめた判断が必要と考えている。

行政関連



鈴木田 幸一

質問通告

- 公営住宅について
- 災害対策について
- 東京オリンピック開催について

◆東京オリンピック開催について

問 一九六四年に開催された東京オリンピックによって、日本は著しい経済の成長と発展をした。このことは官民を初め、政界・財界が一丸となって成功を望み行動した結果である。今回の二〇二〇年の東京オリンピック開催の決定は大きなチャンスである。市は現在どのように取り組んでおられるか、また今後どのような活用を考えておられるかを問う。

答 企画戦略部長・市民協働部長・農林水産部長・商工観光部長 大会の準備・運営を行う組織委員会が設立された。今後、この委員会を中心に競技会場や交通アクセス等のハード整備やソフト事業等、さまざまな取り組みが加速すると推察。本市としても社会の流れや変化を捉え、地域振興につながるような動きをしていくことが重要と考える。「トップアスリート育成事業」等のスポーツ振興、和の文化を支える畳等の八代産の農産物のPR、観光施設における外国人観光客の受け入れ体制の整備等、本市の活性化へつなげてまいりたい。



幸村 香代子

質問通告

- 市立図書館の指定管理者制度導入について
- 小中学生読書運動事業について
- 組織機構再編について

◆組織機構再編について

問 合併してやがて十年を迎える。これまで、行財政改革に取り組み、職員数の削減やアウトソーシングを進めてきた。しかし今後、少子高齢化が進み税収の減少、国の交付金の削減など厳しい財政が予想される。また、職員数も削減してきたことから、行政がこれまで担ってきたサービスの質と量を維持していくのが困難な時代となると考える。対応策を問う。

答 企画戦略部長

二十七年年度の組織機構再編の基本方針としては、市民サービスの向上・職員の意識改革につながる組織機構にすることがあると考えている。これまでは、組織の再編と職員数の削減の二つの視点を柱に効率化を図ることで、行財政改革に取り組んできたが、今後の厳しい財政状況に対応するためにこれらの視点に加え、行政サービスのあり方の改革にまで踏み込むべきであり、サービス・組織・人員といった三位一体の観点が必要であると考えている。



村上 光則

質問通告

- 市長の施政方針、重点項目について
- 市道竜西幹一号線の整備について
- 市道竜西南北二十号線の路肩整備について
- 西片西宮線の整備について
- 人事について
- 事業の予算配分について
- 全国スポーツ大会誘致について

◆市長の施政方針、重点項目について

問 新八代駅及び八代インター周辺は企業にとって魅力的なエリアであるが、農振農用地区域の除外手続などが難しく開発が進んでいない状況である。市長の施政方針の重点項目である新駅及びインター周辺の開発について、どのような施策を展開していくのか伺う。

答 市長

新八代駅及び八代インター周辺は、広域からの交通アクセスもよく市内でも発展が見込める重要なエリアと認識している。今後さらなるアクセス強化を図るため、新八代停車場線や西片西宮線などの交通基盤整備を県と一体となって進めてまいりたい。また、新八代駅周辺の開発については、立地条件や規模が法的に要件を満たす場合は、できる限り円滑に農振除外手続を進められるよう、国県などの関係機関とのさらなる連携を図ってまいりたい。



堀 徹男

質問通告

- 八代市危機管理指針について
- 八代市地域防災計画について

◆八代市地域防災計画について

問 八代市では災害に備え、「八代市地域防災計画」を定めているが、その中の「共助」の取り組みにおいて「自主防災組織」が重要なパートナーとして位置づけられている。そこで現在の結成状況及び訓練等の状況、またその活動を支える資機材保管場所として「防災備蓄倉庫」の整備状況について伺う。

答 市民協働部長

本市には、百九十九の自主防災組織が結成され、結成率は、約七七％である。住民参加型防災訓練は、昨年から二巡目の開催となっており、地域の実情に沿った訓練になるよう、市民協働で取り組んでいる。防災備蓄倉庫の整備状況は、市内全校区三十二カ所に整備済みであり、アルファ米などの食糧やスコップなどの資機材を備蓄している。今後、地域とも協議し、必要な備蓄品を計画的に整備していくとともに、各家庭でも備蓄品の確保を呼びかけていく。



中山 諭扶哉

質問通告

- 情報システム運用について
- イ業専用刈取機について
- 住民自治について

◆住民自治について

問 平成二十六年度中に市内全ての校区において住民自治によるまちづくりがスタートするが、現在の進捗状況と各地域の取り組みの状況はどのようになっているのか。また、既に設立、運営されている地域における課題や問題点はどのようなものがあるのか。住民の不安を解消するために、市としての現在の対応状況と今後の支援の体制について伺う。

答 **市民協働部長** 現在、十四校区で地域協議会が設立され、二十六年度には、全校区で住民自治によるまちづくりが始まる。先行地域の取り組み状況としては、校区が一本化されたことで、構成団体の交流が進み、新たな協力体制の構築や世代間交流など地域のにぎわいを見せている。課題としては、組織運営のノウハウや人材の確保、財政支援の必要性などが寄せられており、今後も財源確保に向けた支援など、地域のまちづくりのため、積極的に支援を行っていく。



亀田 英雄

質問通告

- 企業誘致について
- 住民自治のあり方について
- 交通施策について
- 平成二十六年度予算編成について

◆平成二十六年度予算編成について

問 平成二十六年度予算編成方針は、七年後に削減される交付税を見据えて、一般財源を三％削減するというものであったが、提案された当初予算は合併後最高額となっており、その中で市債が伸びている。一般財源を削減しても特定の財源、それも借金で伸びている状況が見受けられ、財政の健全性が保持されるのか危惧するものであるが、見解を伺う。

答 **市長・総務部長** 予算編成の中の市債については、借入額が返済額を上回らないようにし、現在市債残高を減らしている状況である。平成二十六年度予算では、国の補正予算に伴う建設事業の一部前倒し分を含めた「実質的な建設事業債」で比較すると、前年より約六億円の増額となっている。この要因は広域行政事務組合の消防無線デジタル化負担金や借換債など、臨時的なものであるため、これを除けば例年並みとなることから、財政の健全性を維持した予算編成ができたと考える。



成松 由紀夫

質問通告

- イ業振興策について
- 南部幹線道路整備事業について
- 人権政策について

◆人権政策について

問 市政協力員や市職員、教職員が身体的・精神的に危険な状態にさらされる可能性について、どのような予防措置をとっているのか。気軽に相談のできる複数の弁護士等による相談体制をとることはできないか。また、人権オンブズパーソン制度のあり方について、推進会議の中で検討をするとしていたが、その後の進捗状況について問う。

答 **市長・副市長・市民協働部長・教育長・教育部長** 県警からの派遣職員による相談受け付けやトラブルを受けての同伴対応、警察との連携等も行っている。教職員については、学校現場を支援する体制づくりを検討したい。相談体制については、全庁的に取り組む課題として、検討していきたい。制度の検討については、副市長を座長として検討を重ねてきた。また、弁護士にも相談を行っている。課題もあるので、一旦立ちどまり、議会の理解も得ながら、法律の専門家を交えて、慎重に見直し・検討する。

経済関連



笹本 サエ子

質問通告

- 瀬戸石ダム撤去問題について
- 後期高齢者医療保険制度問題について
- 本市の雇用問題について

◆本市の雇用問題について

問 熊本労働局は平成二十五年九月、若者の「使い捨て」が疑われるブラック企業への立ち入り調査で百七事業場中九十三事業場に何らかの労働基準関係法令違反があったことを指摘、十二月三十日県内の経済・労働団体に對し、長時間労働の抑制など従業員が働きやすい職場環境づくりに努めるよう要請。本市におけるブラック企業と本市の対応について問う。

答 商工観光部長

ブラック企業とは、狭義的には違法労働等によって労働者を使い潰す企業を指すと言われている。本市関係では、七事業所を対象に監督指導がなされ、六事業所で法令違反等が確認されている。市には指導監督の権限はないが、法令違反はあってはならないことであり、企業には法令遵守の責務があると認識している。今後労働者の労働環境向上のため、啓発活動や情報提供を継続し、違法労働等に対しては関係機関と連携を図りながら対応していく。



村川 清則

質問通告

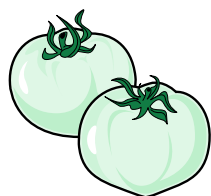
- 施設園芸農業の振興について
- 営農支援室創設について

◆施設園芸農業の振興について

問 現在、トマト農家にとって「黄化葉巻病」は最大の問題である。農家は、県や市の指導により、毎年六月二十日から二カ月間は栽培を自粛し、媒介するシルバーフコナジラムミを減らす努力をしている。一般の家庭で楽しんでおられる菜園にも協力願いたい。市としてどのような対策を考えているか伺う。

答 農林水産部長

夏場の家庭菜園でのトマト栽培を見かける。トマト生産地域の家庭菜園はシルバーフコナジラムミの良好な生育環境となるおそれがあるので、十分な注意が必要と認識している。平成二十六年度は、トマト黄化葉巻病とシルバーフコナジラムミ対策の重要性について、トマト生産農家だけでなく一般の家庭菜園への注意と協力を呼びかけるチラシを作成し、市内全戸への啓発を行うことを検討している。



矢本 善彦

質問通告

- 少子化対策について

◆少子化対策について

問 就農者の高齢化、担い手の減少や農家の嫁不足は深刻な状況である。農村地域では未婚者の増加、出生率の低下は将来の担い手不足に拍車をかけるものである。農業後継者育成対策として、後継者がよき伴侶を得るための支援策として、平成二年から若者ふれあい促進事業が開始され、現在まで継承されている。これらの事業の経緯及び成果について問う。

答 農林水産部長

本市とJAが事業費を二分の二ずつ負担し合い、結婚相手の紹介や交流イベント等を実施し、その結果把握できただけでも二十三組のカップルが成立した。今年度は、梨狩り、TOMATOフェスタを組み合わせた婚活イベントなどを実施し、遠くは近畿地方や福岡県など多くの県外の女性に参加いただくなど一定の成果は上がったものと認識している。二十六年度も、より多くのカップルが生まれるような内容について検討する。

建設関連



友枝 和明

質問通告

- 大鞘川河川改修工事について
- 新牟田西牟田線の道路改良事業について
- 営農支援事業について
- い業機械再生支援事業について

◆大鞘川河川改修工事について

問 この事業は、平成六年度河川局部改良事業が採択され、平成十一年度から広域基幹河川改修事業、平成十八年度から総合流域防災事業として実施されている。毎年住宅、道路が冠水している。平成三十年が完了予定であるが工事の進捗状況を問う。排水機場が五カ所あるが、運転水位の見直しはできないのか問う。

答 建設部長・農林水産部長 現在第二大鞘

橋から二軒屋橋及び東出橋の手前まで暫定築堤を整備済みである。県によると、今年度はその上流部の県道八代鏡宇土線までの用地補償に着手したとのこと。事業の進捗率は約五四％であり、計画どおりの進捗は厳しい状況である。また、五排水機場の運転停止水位の見直しについては、河川堤防の安全上、河川改修工事完了まで困難である。そこで、千丁町の三機場の運転開始水位を見直し、現状より数十センチ下げ、早目の運転開始を行う。

教育関連



中村 和美

質問通告

- 教育サポート事業について
- 子ども支援相談事業について
- 八代日奈久道路側道について

◆子ども支援相談事業について

問 毎日のように、子どものいじめや自殺が報道されている。親として、最も悲劇である子どもたちが明るく、楽しく学校生活を送るために、子ども支援相談員が頑張っておられるが、八代市の相談員は一名であり、子どもたちが安心安全な学校生活を送るためには、増員すべきと思うが、市としては、増員の計画はないのか問う。

答 教育部長 本事業は、本市の児童生徒及

びその保護者並びに学校関係者からのいじめや不登校の相談に応じ、不安の解消や問題の解決を図ることを目的としている。教育サポートセンター内に子ども支援相談室を設置し、相談員一名が、平日の午後一時から午後五時まで、来所や電話等での相談にに応じている。相談員の増員計画は、今のところ考えていないが、相談業務を充実させ、学校や関係機関との連携を図りながら、相談者の不安や悩みの解消に努めてまいりたい。

質問通告

- 運動部活動のあり方について
- 平成二十六年度ごみ行政とその予算について



野崎 伸也

◆運動部活動のあり方について

問 運動部活動では、勝利至上主義による指導の過熱や体罰、保護者の過干渉、顧問教諭への負担、少子化に伴う活動の縮小など取り巻く課題は多いと聞く。そこで、運動部活動の問題に対する認識と対応策を問う。また、市内中学校において、部活動顧問の監督放棄が常態化し、適切な練習ができない部活動があると聞く。教育委員会の対応について問う。

答 教育長・教育部長 運動部活動の指針を

逸脱した活動や指導者としてふさわしくない言動等について、保護者等から相談があった場合は、当該校を訪問したり、電話連絡をしたりして状況の確認を行い、改善に努めるよう指導を行っている。市内中学校の問題については、校長が対応に努力しているとの話を聞いており、状況を見守っている。今後、部活動の運営については、児童生徒や保護者、地域の皆様の御理解をいただきながら、学校と教育委員会が情報を共有し、真摯に対応する。

[illegible]

平成26年3月定例会採決結果

		議席 番号	1	2	3
件 名		審議 結果	橋 本 幸 一	田 中 安	田 方 芳 信
市 長 提 案	◆予算◆(25件)				
	議案第 1 号・平成25年度八代市一般会計補正予算(第10号)	全	○	○	○
	議案第 2 号・平成25年度八代市公共下水道事業特別会計補正予算(第3号)	全	○	○	○
	議案第 3 号・平成25年度八代市一般会計補正予算(第11号)	全	○	○	○
	議案第 4 号・平成25年度八代市国民健康保険特別会計補正予算(第2号)	全	○	○	○
	議案第 5 号・平成25年度八代市介護保険特別会計補正予算(第2号)	全	○	○	○
	議案第 6 号・平成25年度八代市公共下水道事業特別会計補正予算(第4号)	全	○	○	○
	議案第 7 号・平成25年度八代市簡易水道事業特別会計補正予算(第2号)	全	○	○	○
	議案第 8 号・平成25年度八代市久連子財産区特別会計補正予算(第1号)	全	○	○	○
	議案第 9 号・平成25年度八代市椎原財産区特別会計補正予算(第1号)	全	○	○	○
	議案第10号・平成26年度八代市一般会計予算	全	○	○	○
	議案第11号・平成26年度八代市国民健康保険特別会計予算	全	○	○	○
	議案第12号・平成26年度八代市後期高齢者医療特別会計予算	全	○	○	○
	議案第13号・平成26年度八代市介護保険特別会計予算	全	○	○	○
	議案第14号・平成26年度八代市公共下水道事業特別会計予算	全	○	○	○
	議案第15号・平成26年度八代市簡易水道事業特別会計予算	全	○	○	○
	議案第16号・平成26年度八代市農業集落排水処理施設事業特別会計予算	全	○	○	○
	議案第17号・平成26年度八代市浄化槽市町村整備推進事業特別会計予算	全	○	○	○
	議案第18号・平成26年度八代市ケーブルテレビ事業特別会計予算	全	○	○	○
	議案第19号・平成26年度八代市診療所特別会計予算	全	○	○	○
	議案第20号・平成26年度八代市久連子財産区特別会計予算	全	○	○	○
	議案第21号・平成26年度八代市椎原財産区特別会計予算	全	○	○	○
	議案第22号・平成26年度八代市水道事業会計予算	全	○	○	○
	議案第23号・平成26年度八代市病院事業会計予算	全	○	○	○
	議案第50号・平成25年度八代市一般会計補正予算(第12号)	全	○	○	○
	議案第51号・平成26年度八代市一般会計補正予算(第1号)	全	○	○	○
	◆事 件◆(5件)				
	議案第24号・専決処分の報告及びその承認について(平成25年度八代市一般会計補正予算・第9号)	全	○	○	○
	議案第25号・専決処分の報告及びその承認について(熊本県市町村総合事務組合を組織する地方公共団体の数の減少及び規約の一部変更について)	全	○	○	○
	議案第26号・市道路線の廃止について	全	○	○	○
	議案第27号・市道路線の認定について	全	○	○	○
	議案第28号・八代市と氷川町との間の八代市立養護学校に就学する学齢児童及び学齢生徒の教育事務の委託に関する規約の一部変更について	全	○	○	○
	◆条 例◆(21件)				
	議案第29号・組織機構改革に伴う関係条例の整理に関する条例の制定について	全	○	○	○
	議案第30号・八代市職員退職手当支給条例の一部改正について	多	○	○	○
	議案第31号・八代市一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の一部改正について	多	○	○	○
	議案第32号・八代市庁舎建設基金条例の制定について	全	○	○	○
	議案第33号・八代市消防団員の定員、任用、服務等に関する条例の一部改正について	全	○	○	○
	議案第34号・八代市非常勤消防団員に係る退職報償金の支給に関する条例の一部改正について	全	○	○	○
	議案第35号・八代市手数料条例の一部改正について	全	○	○	○
	議案第36号・八代市報酬及び費用弁償条例及び八代市障害程度区分認定審査会の委員の定数等を定める条例の一部改正について	全	○	○	○
	議案第37号・八代市東陽地域福祉保健センター条例の一部改正について	全	○	○	○
	議案第38号・八代市立椎原診療所条例の一部改正について	全	○	○	○
	議案第39号・八代市立下岳診療所条例の一部改正について	全	○	○	○
	議案第40号・八代市立泉歯科診療所条例の一部改正について	全	○	○	○
	議案第41号・八代市立特別支援学校設置条例の一部改正について	全	○	○	○
	議案第42号・八代市立小学校設置条例の一部改正について	全	○	○	○
	議案第43号・八代市立学校体育施設等条例の一部改正について	全	○	○	○
	議案第44号・八代市公民館条例の一部改正について	全	○	○	○
	議案第45号・八代市社会教育委員設置条例の一部改正について	全	○	○	○
	議案第46号・八代市勤労福祉会館条例の廃止について	全	○	○	○
	議案第47号・八代市企業振興促進条例の一部改正について	全	○	○	○
	議案第48号・八代市定住センター及び農産物加工施設条例の一部改正について	全	○	○	○
	議案第49号・八代市簡易水道事業給水条例の一部を改正する条例の一部改正について	全	○	○	○
	◆人 事◆(2件)				
	議案第52号・人権擁護委員候補者の推薦について(吉田和人氏)	全	○	○	○
	議案第53号・人権擁護委員候補者の推薦について(村崎公生氏)	全	○	○	○
提議 委員	◆発議案◆(1件)				
	発議案第1号・八代市議会委員会条例の一部を改正する条例案	全	○	○	○

市議会の広報・PR活動

市議会では、さまざまなメディアを通して、議会の広報・PR活動を展開しています。

ホームページにおいても、情報を開示しています。

ホームページでは、議会の概要、市議会だより、政務活動費の収支報告、市議会の取り組みなどをごらんいただけます。

また、過去の会議録の検索・閲覧ができ、中継ライブラリでは議会中継の記録を動画にてごらんいただけます。

まずは、WEBで検索！

八代市

検索

クリック！



この中から閲覧したい項目を **クリック！**

クリック！

総合案内



市議会

議長あいさつ

市議会からのお知らせ

市議会のあらまし

市議会の日程

市議会の構成

市議会の傍聴

請願・陳情

会議録

中継ライブラリ

政務活動費

八代市ホームページ

編集後記

東日本大震災より、丸三年がたちました。被災地では漁港、農地の復旧に日夜頑張っておられます。農地は七〇％強が順調に復旧が進んでいますが、漁港は資材不足や人手不足で約四五％どまりと聞きます。やはり、全国的な入札不調の影響なのか、一日も早く震災前になることを願います。

八代市では新年度予算がこの3月定例会において全会一致で通過しました。特にこの予算の中には、市内の各学校の耐震対策のための改修工事費などが含まれておりますが、どうか、工事が順調に、また安全に行われますことを祈っております。

議会といたしましても、これからも市民の皆様の大切な税金が有効に使われますように努力してまいります。

八代市議会広報委員会

◎本紙に関する御意見・御要望はこちらまで TEL 32-5984・FAX 33-4440
市役所ホームページアドレス <http://www.city.yatsushiro.kumamoto.jp/>

